

令和6年度第2回 岸和田市地域公共交通協議会

ローズバスのルート変更について



検討の流れと今回協議会の位置づけ

令和5年度（2023年度）

- ・利用人数の推移
- ・利用促進策の取り組み事例
- ・過去から現在に至るまでのルート改正に関する経緯
- ・乗込み調査などの各種調査結果取り纏め
- ・前回の改正後から現在までのローズバスをめぐる状況の変化や課題
- ・ルート・ダイヤの改正の考え方整理
- ・各種調査結果の分析報告
- ・変更に向けたルート案の方向性の整理に関する意見聴取

令和6年度（2024年度）

第1回協議会（6月）

- ・新たなルートに向けた検討
- ・ルート変更に向けた課題の抽出

第2回協議会（8月）

- ・ルート案の比較検討（基本ルート案、急行ルート案）
- ・目標値
- ・利用促進策

今回の
協議会

第3回協議会

- ・ルート案の確定
- ・各種準備、周知活動

第4回協議会

- ・ルートの確定 等

令和7年度（2025年度）

- ・関係機関との協議経過報告
- ・各種法手続き 等

前回協議会（令和6年度第1回協議会）の振り返り

- 新たな需要を取り込むため、抜本的な新たなルート（下図）の方向性で検討を進めることが承認された
⇒今後の検討において「**基本ルート案**」とする

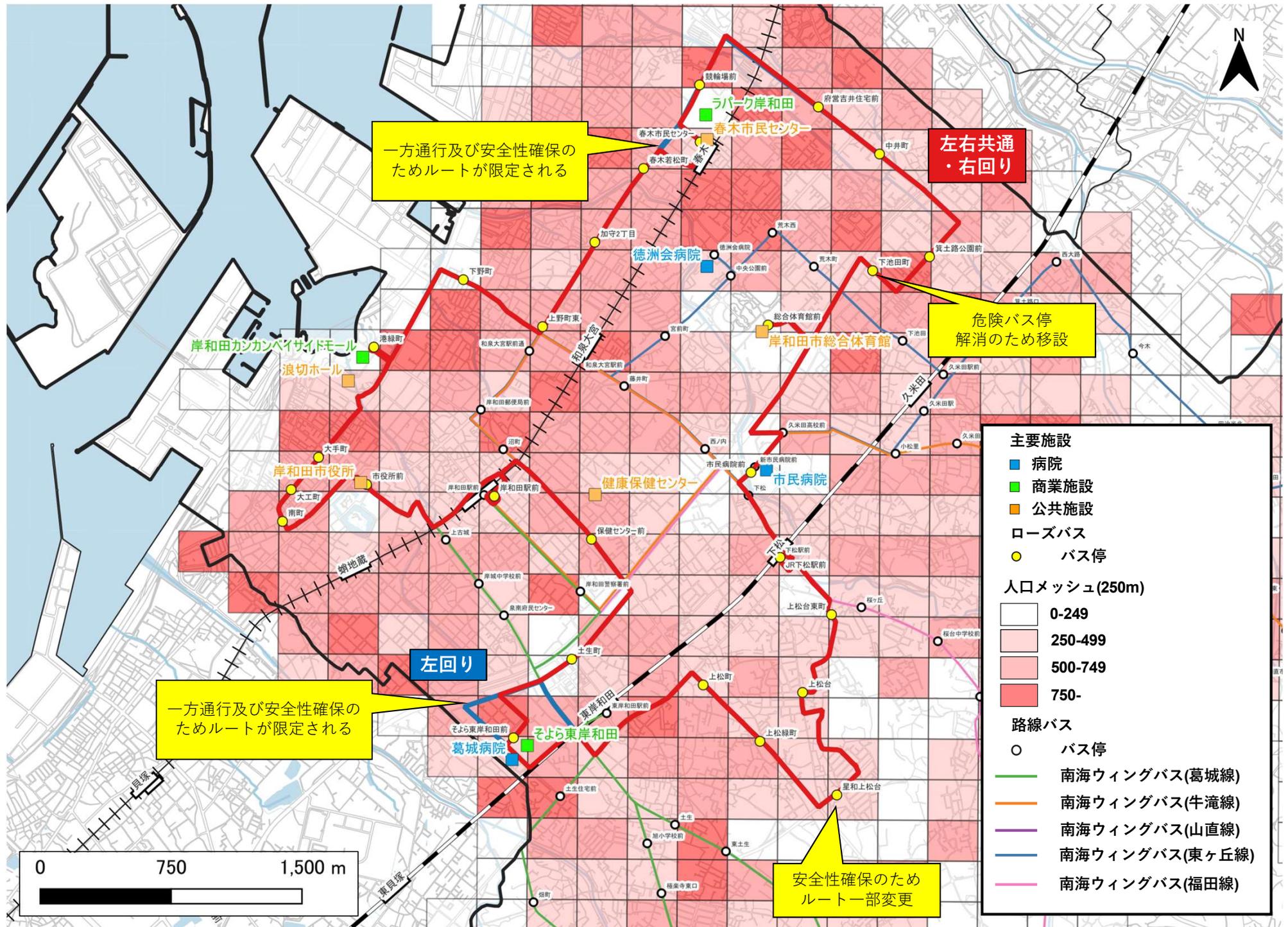
【抜本的な新たなルートイメージ】

方針「利用者拡大にむけた 利便性向上を目指す」



【抜本的な新たなルートへの変更に向けた課題】

- 課題①：新たな需要を掘り起こすための**新規バス停の設置**（東岸和田周辺・春木周辺）
- 課題②：1周あたりの時間を短縮し、**速達性の向上**（急行便の導入等）
- 課題③：**下松駅での路線バス（福田線）との乗換**
- 課題④：新設バス停設置及び旧バス停復活（バス停設置について地権者同意等）
- 課題⑤：法律改正に伴う**運転手の連続運転時間への対応**（運転手不足問題等）



- 基本ルート案は現行より特に**主要施設カバー数が増加**する一方、**所要時間の増加に伴い運行本数が減少**する。
⇒できる限り運行本数を確保するため、**一部区間の短縮を図る急行ルート案**についても検討する（次ページ）

現行及び基本ルート案の比較

赤字：現行よりサービスが**改善**する点
青字：現行よりサービスが**低下**する点

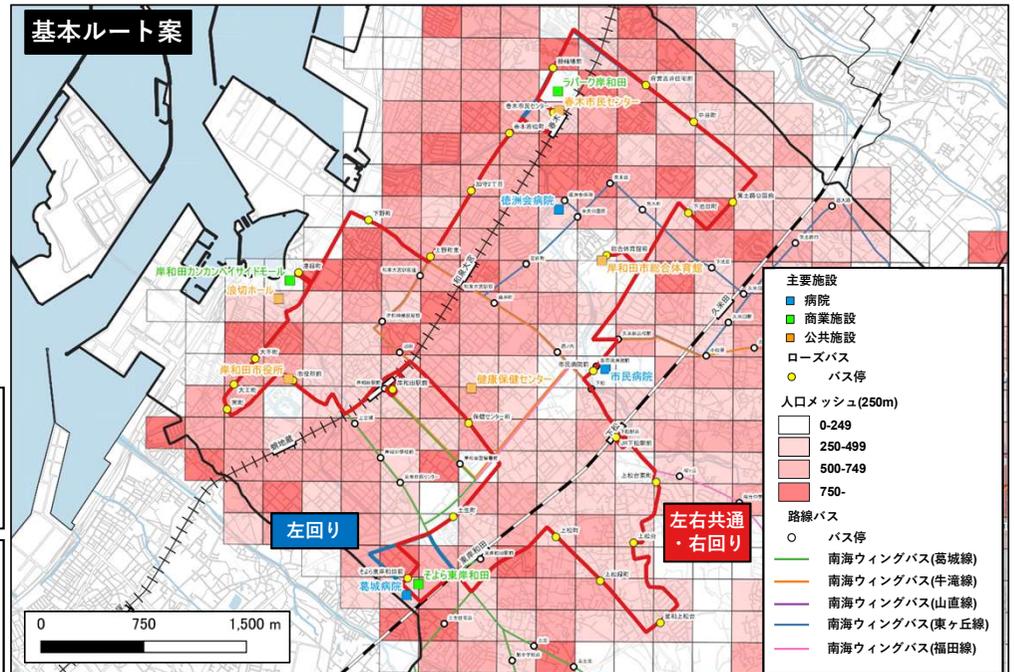
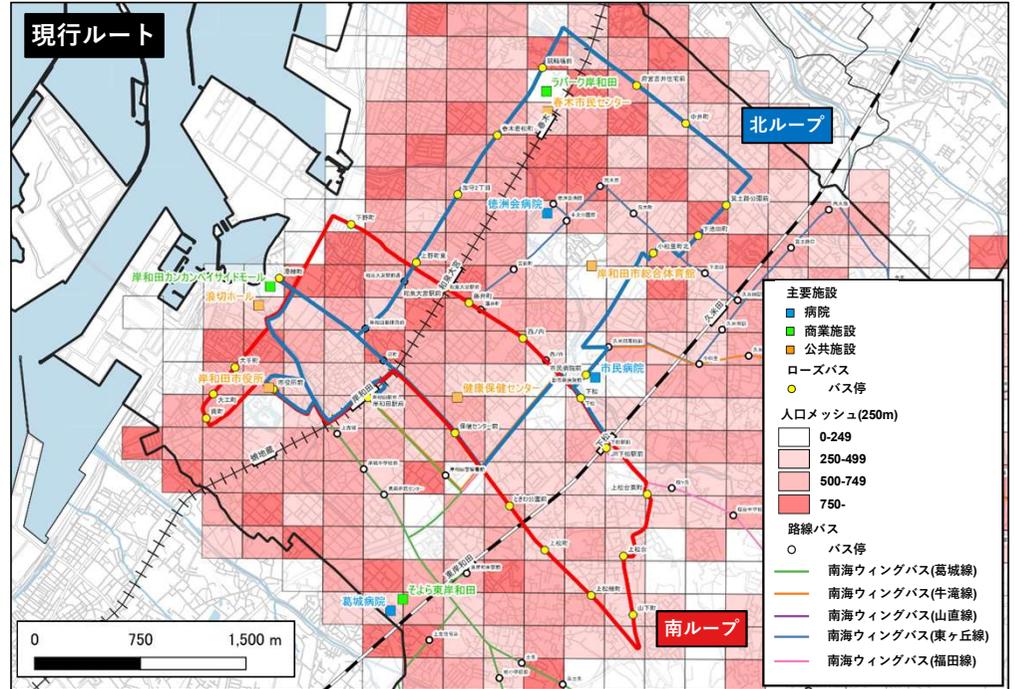
		現行	基本ルート案
概要	概要	—	前回協議会で提示した抜本的な新たなルート案
	距離	北ループ：15.2km 南ループ：12.7km 計：27.9km	右回り 20.1km 左回り 21.1km 計 41.2km
	所要時間※1	北ループ：68分 南ループ：58分	右回り 91分 左回り 96分
	片回り・両回り	片回り	両回り
	運行本数 (車両2台前提)	各6便/日	各4便/日
需要面	鉄道駅接続数	3 (岸和田、下松、和泉大宮)	4 (岸和田、下松、春木、東岸和田)
	主要施設カバー数※2 ・商業施設 ・病院 ・公共施設	6 1 (カンカンベイサイドモール) 1 (市民病院) 4 (市役所、保健センター、浪切ホール、総合体育館)	10 3 (増：ラパーク岸和田、そよら東岸和田) 2 (増：葛城病院) 5 (増：春木市民センター)
	カバー人口 (バス停200mカバー圏域、路線バス重複分は除く)	約17,300人 (総人口の9.1%)	約18,800人 (総人口の9.9%)
	路線バス重複延長	5.1km	3.0km
費用面	日走行距離	164.2km (一部短縮ルートを採用しているため上記の合計と一致しない)	164.8km
	車両台数	2台	2台

※1 所要時間について

現南ループの延長が12.7kmで58分(下松駅での乗り継ぎ有)の為、0.22km/分
現北ループの延長が13.6kmで58分(下松駅無)の為、0.23km/分
現北ループの延長が15.2kmで68分(下松駅有)の為、0.22km/分
よって、平均速度は0.22km/分で計算する

※2 主要施設カバーによる利用者数について

例えば、現行のカンカンベイサイドモール、浪切ホール最寄の「港緑町(浪切ホール)」バス停の乗降者数は1日当たり25人となっている(令和5年度OD調査より)。これは年間では6,000人(平日240日換算)と、令和5年度利用者数(23,373人)の約25%に相当する



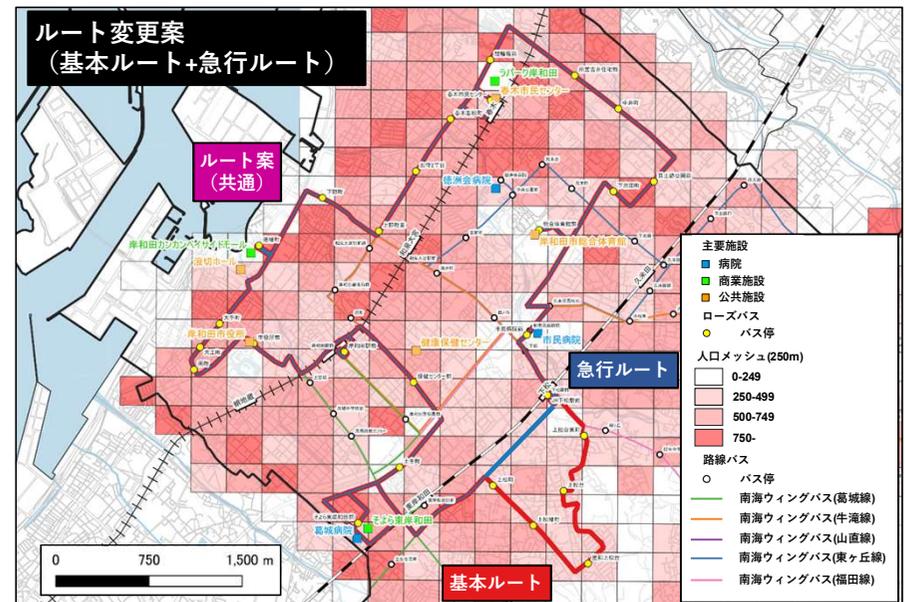
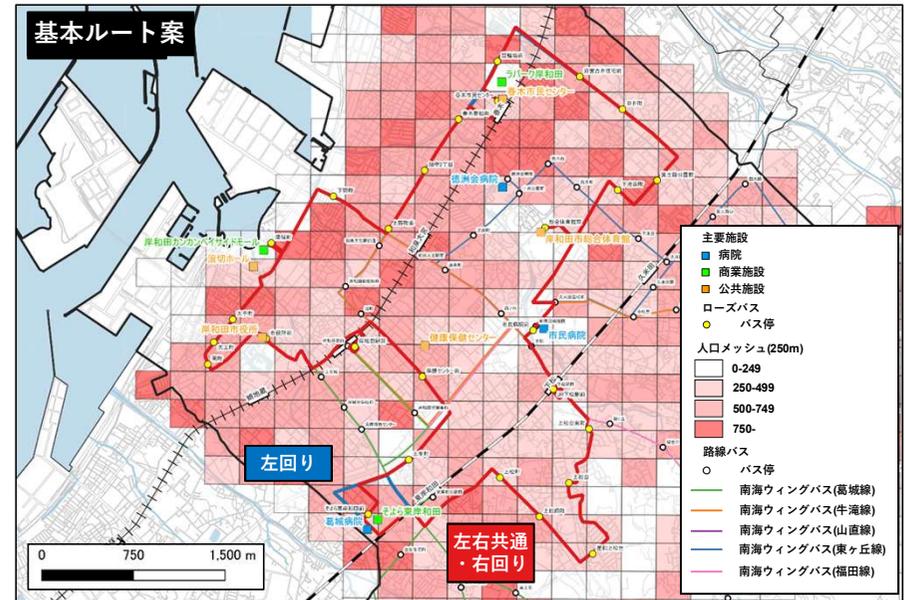
3. 急行ルート案の検討及びルート変更案のまとめ

- 急行ルート案については、鉄道駅や主要施設をカバーしながら所要時間短縮が可能な上松地区を短縮する案を採用候補とする。
- 「基本ルート案」と「急行ルート案」を組み合わせ、**運行本数は各回り5便確保を基本に**、今後具体的なダイヤ等の調整を図る。

急行ルート案の検討及びルート変更案のまとめ

赤字：基本ルート案よりサービスが**向上**する点
青字：基本ルート案よりサービスが**低下**する点

		基本ルート案	基本ルート + 急行ルート案
概要	概要	※前回協議会提示	上松地区を短縮
	距離	右回り 20.1km 左回り 21.1km 計 41.2km	※急行ルート 右回り 17.8km 左回り 18.8km 計 36.6km
	所要時間	右回り 91分 左回り 95分	※急行ルート 右回り 81分 左回り 85分 約10分短縮
	片回り・両回り	両回り	
	運行本数	右回り・左回り各4便/日	右回り・左回り各5便/日
需要面	鉄道駅接続数	4 (岸和田、下松、春木、東岸和田)	
	主要施設カバー数 ・商業施設 ・病院 ・公共施設	10 3 (増：ラパーク岸和田、そよら東岸和田) 2 (増：葛城病院) 5 (増：春木市民センター)	
	カバー人口 (バス停200mカバー圏域、 路線バス重複分は除く)	約18,800人 (総人口の9.9%)	
	路線バス重複延長	3.0km	2.6km
費用面	日走行距離	※今後精査	
	車両台数	2台	



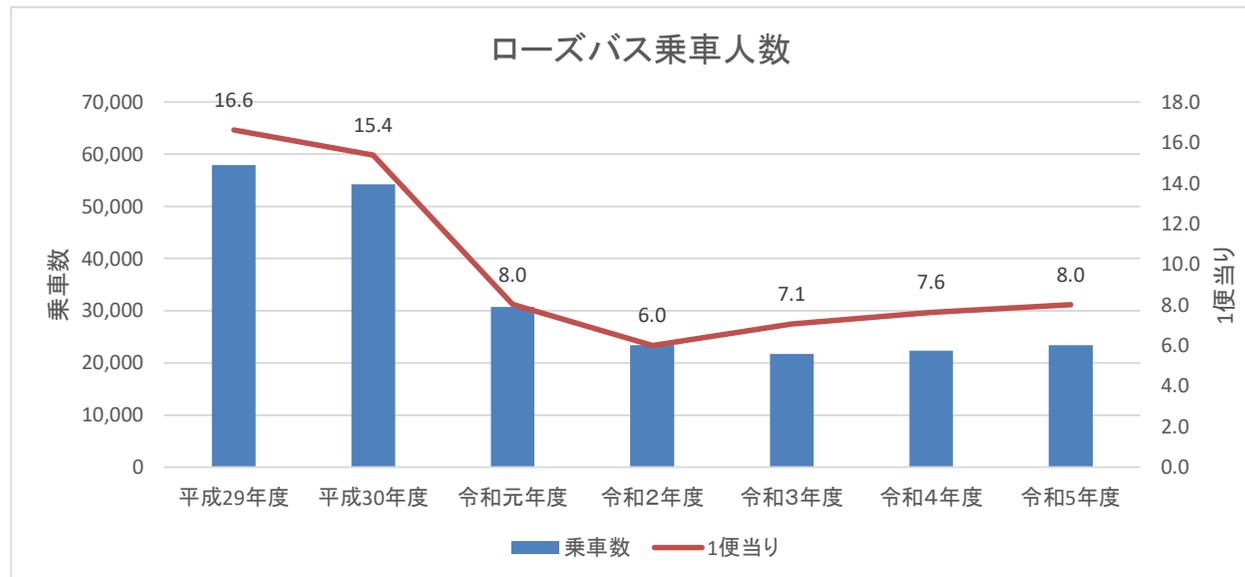
●ローズバスのPDCAサイクルによる継続的な運行改善に向けて、以下の目標値を基本に設定する。

ローズバスの運行改善に向けた目標値（案）

	現況 (令和5年度)	目標値 (令和10年度)	目標値設定の考え方など
利用者数	23,373人	50,000人以上	・コロナ禍及び人口減少により減少した利用者の回復を図る
市民の認知度、満足度	— (R7年5月実施予定)	現況より増加	・どの程度の水準を目指すかは、現況の調査結果を踏まえて設定 ※市民意識調査による市民の認知度・満足度

※財政負担額等については今後精査していきます

ローズバス利用者数の推移（H29年度～R5年度）



●目標達成に向けて、市民・地域・企業等、交通事業者、行政が一丸となり、以下のような利用促進策に取り組む。

ローズバスの運行改善に向けた利用促進策（案）

視点		施策の方向性	事例
周知・意識啓発	市民	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携した周知活動（自治会を通じたチラシ配布等） 地域ごとにバスについて考える場の創出（懇談会、座談会、イベント等） 子どもをターゲットとした意識啓発（バスの乗り方教室など） 	多数
	来訪者	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道駅、商業施設、公共施設等での案内 	多数
乗継利用の促進	ダイヤ接続	<ul style="list-style-type: none"> 接続する他の路線バスとできる限りダイヤ接続を図る 	—
	運賃	<ul style="list-style-type: none"> 乗り継ぎ負担が少ない運賃制度等の導入を図る（乗継運賃割引、路線バス・ローズバス共通フリー乗車券など） 	<ul style="list-style-type: none"> 吹田市 河内長野市
使いやすさの向上	待ち環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設、商業施設等ではできる限り施設内に待合環境を整備（ベンチやバスロケーションシステム等を含め） その他もできる限り上屋やベンチを整備（地域や沿道施設との連携を含め） 	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県川崎市 バス待ちスペース（岸和田市）
	バス停の新設・移設	<ul style="list-style-type: none"> 沿道施設等にアクセスしやすいように、バス停の新設・移設等を検討 	多数
その他	車両	<ul style="list-style-type: none"> まちのシンボルとなり、乗りたくなる車両の導入・工夫（EVバスの導入、車両デザイン工夫など） 	多数

乗継負担が少ない運賃制度の導入促進



例えば、直通で行く場合の岸和田駅、下松駅の差額は100～150円程度
⇒乗り継ぎしても同程度以下が望ましい。

1日フリー乗車券（河内長野市）



有効期間
乗車日当日に限り有効
発売金額
大人1枚/650円 小児1枚/330円

出典：南海バスホームページ

病院と連携したバス待ち環境の充実

名称 井田病院（川崎市中原区）
 乗り入れ事業者 川崎市交通局
 管理者 バスロケーションシステムの表示機はバス事業者により設置・管理
 設置時期 平成19年3月
 概要 ①設置のきっかけ等
 バス利用者は病院のロビーでバスを待つのが通例であり、バスに乗り遅れることも多かったため、病院・バス事業者により対応を検討し、バスロケーションシステムを設置することにした。
 ②利用状況
 ・病棟建て替え工事の一環で、平成29年12月1日より敷地内に新しく整備されたバスロータリーへ乗り入れを開始。バスロケーションシステムの表示機は新病棟のロビーに移設して引き続き運用している。
 ・新病棟では、病院のロビーに案内係（コンシェルジュ）が配置され、案内係のすぐ前に表示機が設置されているので、通院者の目にとまりやすく、また、コンシェルジュが通院者へバスの案内をする際にも表示されている情報を活用している。



（病院ロビー表示機）

出典：国土交通省資料

バス待ちスペース（沿道施設との連携）

こちらでバスをお待ちいただけます♪
バス待ちスペース
 利用できる設備
 駐輪場、お手洗い、駐車場、ベンチ・椅子、ポスト、時刻表、時刻表
 施設名 ○○○○○ ○○店
 バス停名 ○○○○○ バス停
 みんなでバスも地域も盛り上げましょう！
 ※バスの接近情報、運賃などはこちらから
 問合せ先：岸和田市交通まちづくり課 電話 072-423-9656

出典：岸和田市ホームページ